鳥取市立病院 医師労働時間短縮計画

計画期間　　令和４年１０月１日～令和７年３月３１日

対象医師　　全診療科共通

１．労働時間と組織管理（共通記載事項）

（１）労働時間数

ア 時間外勤務実績

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	延べ時間数	月平均人数	月平均時間	延べ時間数	月平均人数	月平均時間	延べ時間数	月平均人数	月平均時間
医師	7,779	44	14.9	7,245	40	15.3	8,784	37	19.8
看護師	6,234	234	2.2	8,403	222	3.2	18,536	227	6.8
医療技術職	1,648	77	1.8	1,674	76	1.8	1,608	78	1.7
事務職	2,441	28	7.4	1,543	27	4.8	2,838	26	9.1
調理員	0	5	0.0	128	5	2.1	49	5	0.8
全体	18,102	387	3.9	18,993	369	4.3	31,815	373	7.1

イ 医師一人当たりの年間時間外・休日労働時間

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度目標
平均時間数	14.9	15.3	19.8	18.8
最長時間数	550	538	524	497
960 時間超の人数・割合	0 人(0%)	0 人(0%)	0 人(0%)	0 人(0%)

ウ 年次有給休暇の取得状況

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	人数	日数合計	平均日数	人数	日数合計	平均日数	人数	日数合計	平均日数
医師	46	337.9	7.3	52	323.0	6.2	49	301.9	6.2
看護師	245	2,845.3	11.6	250	2,565.5	10.3	245	3,127.5	12.8
医療技術職	74	968.0	13.1	79	929.0	11.8	83	1,203.6	14.5
事務職	31	284.4	9.2	35	281.0	8.0	36	352.8	9.8
調理員	6	51.5	8.6	6	40.0	6.7	6	50.6	8.4
全体	402	4,487.0	11.2	422	4,139.5	9.8	419	5,036.4	12.0

（２）労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	出退勤システムによる管理
当年度の取組目標	出退勤システムによる管理
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	労働基準法施行規則第 23 条の宿直許可取得済み
当年度の取組目標	宿直許可に基づき適切に取り組む 日直については労働時間として適切に管理する
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	事業場における労働時間該当性を明確にするための手続を周知し管理する
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【労使の話し合い、36 協定の締結】

前年度の取組実績	労働者の過半数で組織する労働組合と協議の場を随時開催する。締結し、届け出た 36 協定を院内に掲示する。
当年度の取組目標	労使協議の場を月１回設ける。
計画期間中の取組目標	同上

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	衛生委員会を月 1 回開催する 健康診断を年 2 回実施する
当年度の取組目標	上記事項に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

【追加的健康確保措置の実施】

前年度の取組実績	連続勤務時間制限、勤務間インターバル確保及び代償休息確保を可能とする勤務体制を構築している
当年度の取組目標	上記事項に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

（３）意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	国等が実施する経営層向けの研修会に事業管理者および病院長が参加する
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

（４）策定プロセス

各職種（医師、看護師、医療技術職、事務職）から各代表が参画する「働き方改革推進委員会」を開催し、この計画の検討を行い策定した。

協議の経過（議事録）はグループウェアで公開し、全ての職員が参照できるように周知している。

２．労働時間短縮に向けた取組

（１）タスク・シフト／シェア

【看護師/助産師】

計画策定時点での取組実績	・特定行為研修修了者の活用 ・静注・採血・点滴ルート確保：看護職へほぼ移管 ・RRT 活動による急変予防・対応
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	・医師事務作業補助者 20 人体制で医師の具体的指示の下、診療録等の代行入力を行う。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【医療技術職】

計画策定時点での取組実績	・リハビリテーションに関する説明及び書類作成 ：PT・OT・ST にほぼ移管 ・医療機器操作、手術における清潔介助、内視鏡検査直接介助、人工透析における一部処置等：臨床工学技士に一部移管 ・服薬指導、入院患者の持参薬確認、疑義対応プロトコルに基づく入院処方の修正：薬剤師に一部移管
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組むほか、麻酔補助業務を確立

（２）医師の業務の見直し

【宿日直体制】

計画策定時点での取組実績	・診療科ごとの体制ではなく、交代で1日当直当たり２人体制とし、宿日直しない診療科はオンコール体制とする
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【短時間勤務医・派遣医師の活用】

計画策定時点での取組実績	・外部の診療所及び大学病院等より非常勤医師を受け入れ、診療体制の充実を図るとともに、常勤医の負担軽減を図る
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

（３）その他の勤務環境改善

【IoT・AI・ICT ツール活用による業務量縮減】

計画策定時点での取組実績	・電子カルテ、オンライン診療システム、放射線画像遠隔読影、RFID 等のツール活用により業務量縮減を図る
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組むほか、院外から画像・検査結果参照できるシステムの導入を進める

【子育て中の職員に対する配慮】

計画策定時点での取組実績	・広く院内託児所を周知し、安心して働くことのできる職場環境を確保する ・夜間保育活用を推進する ・育児支援制度の活用促進を図る
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【時間外勤務の縮減】

計画策定時点での取組実績	令和５年度 時間外勤務平均時間 19.8 時間/月
計画期間中の取組目標	対令和５年度比 5%以上縮減

【有給休暇取得率の向上】

計画策定時点での取組実績	令和５年 有給休暇取得日数 6.2 日/年
計画期間中の取組目標	平均取得日数 12 日以上

（４）副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	・副業・兼業は原則禁止。地域の要請等により許可する場合は、あらかじめ勤務シフトの調整が可能な場合に限り、申請により許可する。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

（５）Ｃ－１水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化（非該当）

計画策定時点での取組実績	・Ｅラーニングやオンライン研修を活用し、人的資源の削減、研修時間の削減に繋げる ・継続教育研修内容の見直し
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む